

第3次千葉県青少年総合プラン関連指標進捗状況(令和2年7月時点)

I-1-① 社会を生き抜く力の育成	[主体的な学びの推進] ※【別紙】参照 授業で、話し合い活動がしっかりとできていると考えている児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>				目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H29)	H30	R1	()	()	()	
	小学校6年生 77.0% 中学校3年生 72.0%	小学校6年生 76.6% 中学校3年生 73.8%	小学校6年生 72.7% 中学校3年生 69.9%				
I-1-② 健康と安心の確保	[基本的生活習慣の形成] 朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>				目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H29)	H30	R1	()	()	()	
	小学校6年生 95.2% 中学校3年生 92.2%	小学校6年生 94.1% 中学校3年生 90.8%	小学校6年生 94.8% 中学校3年生 92.0%				
I-2-③ 子ども・若者の社会参加の促進	[ボランティアへの参加促進] ボランティアとして活動したことがある若者(20代)の割合 <県政に関する世論調査>				目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	40%	35%	30%	33%			
I-2-④ 職業能力の習得/就労支援の充実	[キャリア教育の推進] 職場体験・インターンシップを実施している公立学校の割合				目標	中学校 100% 高校 90.0%	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	中学校 97.2% 高校 88.9%	中学校 97.5% 高校 88.9%	中学校 98.1% 高校 87.3%	中学校 96.6% 高校 89.6%			
II-3-⑤ 総合的な相談・支援体制の整備	[総合的な相談・支援体制の整備] 千葉県子ども・若者総合相談センターにおける相談件数 ※面接相談はH29から開始				目標	増加を目指します (潜在的なニーズの掘り起こしを継続的に実施)	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	相談件数 733件 (うち面接相談件数) 0件	総相談件数 1,313件 うち面接相談件数 238件	相談件数 1,079件 うち面接相談件数 241件	相談件数 1,850件 うち面接相談件数 385件			
II-3-⑥ 様々な困難や配慮を要する状況に応じた支援の充実	[不登校・中途退学への対応] 公立高等学校における不登校・中途退学生徒の割合				目標	減少を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	()	()	()	
	不登校 2.55% 中途退学者 1.27%	不登校 2.53% 中途退学者 1.29%	不登校 2.59% 中途退学者 1.31%				
II-3-⑦ 子どもの貧困対策の推進	[教育を受ける機会の均等] 生活保護を受けている子どもの高等学校等進学率				目標	県全体の高等学校等進学率に近づける	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	()	()	()	
	生活保護受給者 91.7% 県全体 98.6%	生活保護受給者 90.7% 県全体 98.9%	生活保護受給者 88.9% 県全体 98.9%				
II-4-⑧ 非行・犯罪防止と立ち直り支援	[非行防止活動の推進] 県下一斉合同パトロールに参加した市町村の数				目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	25市町村	27市町村	28市町村	30市			

Ⅱ-4-⑨ 虐待・犯罪等の被害防止	[地域における児童虐待への対応] 要保護児童対策地域協議会の設置数				目標	全市町村	[達成状況]
	基準年(H29)	H30	R1	()	()	()	
	53市町村	54市町村 (全市町村設置)	54市町村				
Ⅲ-5-⑩ 多様な主体による取組の推進と連携	[青少年育成活動の推進] 青少年相談員が地域において実施する取組への青少年の参加者数				目標	増加を視野に入れ 160,000人以上 継続	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	164,233人	165,607人	166,324人	200,858人			
Ⅲ-5-⑪ 家庭・学校・地域の連携	[学校と地域との連携] 教育課題について語り合う集いを地域住民と連携して企画・運営している 学校の割合				目標	76.0%	[達成状況]
	基準年(H29)	H30	R1	()	()	()	
	66.7%	70.0%	73.0%				
Ⅲ-6-⑫ 子ども・若者を守る環境の整備	[有害環境の浄化] 千葉県青少年健全育成条例に基づく、立入調査の実施件数				目標	480件以上 継続	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	481件	545件	529件	440件			
Ⅲ-6-⑬ 情報化社会への対応	[地域におけるネット被害防止対策強化] 青少年のネット被害防止対策(ネットパトロール)を実施している市町村数				目標	12市町村 以上	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	4市町村	9市町村	11市町村	12市町村			
Ⅲ-6-⑭ 子どもを育てる環境の整備	[子育てをしやすい環境づくり] 「子育て応援！チーパス事業」協賛店舗数				目標	7,200店 以上	[達成状況]
	基準年(H28)	H29	H30	R1	()	()	
	6,748店	7,318店	7,826店	8,597店			

※達成状況は、下記のいずれかを記載

目標を達成	達成
基準年より上向き	改善傾向
基準年から横ばい	横ばい
基準年より下向き	悪化傾向

[主体的な学びの推進]関連指標について

関連指標については、国が実施した、平成29年度全国学力・学習状況調査の

「5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」(小学生)

「1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」(中学生)

という質問に対する回答結果をもとに、基準年の数値を設定しています。
しかし、平成30年度と同調査では、該当の質問が削除されています。

そこで、設定した関連指標の趣旨に最も近い内容と思われる、

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」(小学生)

「生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」(中学生)

という質問に対する回答結果を記載しています。

このため、平成30年度以降と平成29年度の数値の単純比較はできなくなっています。